

新型コロナウイルス感染症対策本部の開催を受けて

国においては、昨日の「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」における見解を踏まえ、本日の「新型コロナウイルス感染症対策本部」において、「学校の一斉臨時休業」や「大規模イベント等の自粛」に関し、「地域の感染状況等に応じた判断が可能となる方針」が示されたことは、全国知事会の提言を踏まえたものであり評価したい。

今後、国においては、速やかに、

- ・ 学校の設置者が再開に向け適切に判断できるよう、科学的知見を踏まえた具体的な考え方
- ・ 大規模イベント等の主催者が開催にあたり、従来からの「密閉・密集・近距離」の3条件を避けることに加え、「地域の感染状況等に応じた判断が可能」となるガイドライン

を提示いただきたい。

さらに、国民の不安解消に向け、医療用マスク、消毒薬等の医療現場での感染防御に必要な物資の供給や「簡易検査キットや治療薬及びワクチン」の早期開発及び供給をはじめ、

- ・ クラスタ対策の「専門人材」を確保し、必要な地域に派遣を可能とする広域応援体制（医療版 TEC-Force）の構築
- ・ 「オーバーシュート（爆発的患者急増）」が発生する事態も念頭に、国、地方が一致協力して対応するため、「改正新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づき「政府対策本部」を速やかに設置し、「基本的対処方針」を策定するとともに、各都道府県における「危機を乗り越える医療提供体制等の構築」に向け、人材面、財政面、補償制度等にわたり、政府として強力な支援
- ・ 地域経済への多大な影響を踏まえた、消費喚起や投資促進を図るため、これまでに無い大胆かつ個別状況に即応した「地域活性化・経済危機対策」

などに早急に取り組まれない。

引き続き、全国知事会としても、国と心をついに、この新たな国難を克服すべく全力を傾注して参る覚悟であり、今後とも地域住民の安全・安心の確保に万全を期して参りたい。

令和2年3月20日

全国知事会会長 徳島県知事 飯泉 嘉門